

ありますが、やっぱり公助で、公助の限界も痛感しているところですが、防災力強化を第一にやっていかなくてはと思っています。

今後の蒲郡市

○鈴木寿明 市長

次に「今後の蒲郡市」について期待することや、提言などがありますか。

○鈴木克昌 元市長

観光蒲郡の礎を築いた薄信四郎氏について書かれた本の粗原稿を読ませていただいたのですが、当時の若い人達が、蒲郡に非常に情熱、愛情を持って燃えていたのが垣間見えるんですね。そんな先人たちのように、これからのまちをつくる若い人たちが、十分力を発揮できるような、そういう雰囲気を感じていただきたいと思いますね。

○金原久雄 元市長

蒲郡に鉄道の東海道線が通ったというのは、豊橋が地形的に難しかったり岡崎が断ったりした中で、蒲郡にいた県職員の水島藤六郎さんの呼び掛け、声掛けでこうなった。そういう先見性を持った人の歴史があるんですね。

いろいろと新聞記事を見ると、石油を燃やさなくてもみかんの温室を温める技術が検討されている。そういう先を読んでやるのが勝ちですよ。

○稲葉正吉 前市長

この3年間で社会が大きく変わったなあと感じています。世界・国内の情勢、自然災害、それらを常に把握しながら、市はどう対応するべきか常日頃から心掛けていかなくてはいけないと思っています。

最終的には、これからも蒲郡に住んでいただいた方が「住んでよかった。これからも住みたい。」子どもたちが誇れるふるさとになるような、そんなまちづくりの舵取りを鈴木市長にお願いしたいと思っています。

○鈴木寿明 市長

歴代市長それぞれの、今後の蒲郡に期待すること、展望を教えてくださいました。本当にありがとうございます。市制70周年のテーマが「愛し愛され蒲郡」ということで、市民の皆さんが、やっぱり蒲郡市を好きになってほしい。まだまだ多くの魅力がこの蒲郡にあると思います。魅力を再発見して、さらに発信できるようなまちにしていきたいと思えますし、市外からも注目し、訪れていただきたい、愛されたいというように思います。

観光交流立市という先輩たちが築いたこのまちを愛していただくような、おもてなしの心を持った蒲郡市でありたいと思います。

○鈴木寿明 市長

歴代市長にお話を伺い、たくさんのご意見・ご提言をいただくことができました。過去を振り返り、未来に対して何ができるのか常に考えながら、守るところは守り、そして変えるべきところは変えていく、そんな節目の年にしたいと思っています。

これからもご指導をよろしくお願いたします。



第7代市長 稲葉 正吉
平成 23 年～令和元年



第6代市長 金原 久雄
平成 11 年～平成 23 年



第5代市長 鈴木 克昌
平成 6 年～平成 11 年